

# 沖縄型耐候性園芸施設整備事業における補強・改修の対象施設について

## 課題

### ■耐候性施設の普及・導入、施設の長寿命化

本県の農産物の拠点産地における戦略品目の生産量を安定的に確保し、かつ、生産量の拡大を図っていくには、台風等の被害から農作物を守る耐候性施設を確保・維持する必要がある。

## 解決策

### 【耐候性施設導入整備支援】

#### ■現行の高率補助事業の継続

農家負担の軽減に寄与する。

#### ■施設の長寿命化

一定の条件を満たす施設の補強・改修を支援することで、園芸施設の長寿命化を図る。

#### ■園芸施設共済加入の要件化

補助事業により導入する耐候性施設の共済への加入を求めることで、本県共済加入者での被害率が低減され、共済掛金が圧縮される。それにより、さらなる共済加入の促進が期待できる。

## 対象とする施設の考え方

これまで、新たな振興計画における制度提言として「沖縄型農業共済・耐候性施設導入整備への支援」について提案してきました。耐候性園芸施設導入（新設、長寿命化）などの継続した支援による戦略品目の安定生産・確保と、その支援対象施設の園芸施設共済等の加入要件化による共済掛金の低減につなげる相乗効果を期待するものであります。

### ■耐候性施設の普及・導入、施設の長寿命化

本県の農産物の拠点産地における戦略品目の生産量を安定的に確保し、かつ、生産量の拡大を図っていくには、台風等の被害から農作物を守る耐候性施設を確保・維持する必要がある。

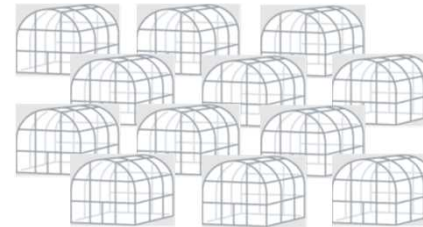
補強・改修の支援対象としては…

・国庫補助事業により整備し、かつ耐用年数（財産処分期限）を過ぎた既存の耐候性園芸施設の補強・改修を支援（※個人・法人の資産形成に当たらない共同利用施設）

#### 一括交付金で整備した共同利用施設



#### その他の国庫事業で整備した共同利用施設



※自力施工が可能なビニール被覆のみの簡易なパイプハウスは支援対象外



一定の条件を満たす施設への支援の結果、

①左記の施設の長寿命化を図ることによる戦略品目産地における安定生産

②園芸施設の被害率の低減にもつながり、全国に比べて負担となっている共済掛金の低減

などにより、産地育成及び農家経営支援に寄与する。